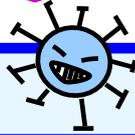


感染症に気をつけよう!

2021年【1月号】

横浜市感染症情報センター

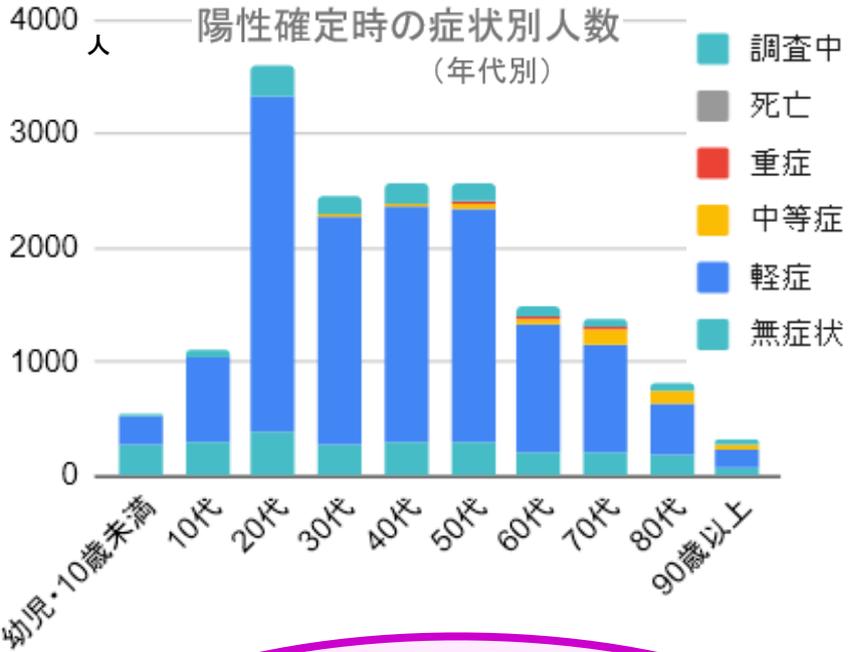
今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症

横浜市内の陽性患者数

(1月24日時点)
累計 16,825人



マスクの効果

▶ 自分と相手の両方がマスクを着用することで、「ウイルスの吸い込みを7割以上抑える」との研究結果があります。

- ▶ 特に、室内で会話する場合は、マスクを正しく着用する必要があります。
- ▶ 屋外であっても、感染防止に必要な「最低1メートル」の間隔を保てない時があります。
- ▶ 話す時は、いつでもマスクを着けましょう。

③ 両方がマスクを着用



50 cm

両方が布マスク
70% ↓

両方がサージカルマスク (不織布マスク)
75% ↓

東京大学医科学研究所のデータを基に内閣官房作成の資料からマスク着用例 ③ を抜粋

